



一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会
発行人：会長 山本 久美
編集：広報委員会

〒790-0003 松山市三番町 4-8-7 第5越智会計ビル1F
TEL：089-961-1640 URL：http://shindan-ehime.com
E-mail：shinai@shindan-ehime.com

目次

◆会長挨拶 (山本久美)	1
◆四国初実施の中小企業診断士第1次試験対応を終えて (多田稔)	2
◆試験対応アドバイザーとしての所感 (大阪府協会 田原勇也)	3
◆新任役員の所信表明 (白石秀一／高野祐介／加地孝則)	4
◆令和5年度事業系食品ロス削減啓発事業 (濱田悠介)	5
◆広報活動報告：今治北高等学校 (高野祐介)	6
◆入会ご挨拶 (井上雄介)	7
◆入会ご挨拶 (扇山光一)	7
◆お知らせ (事務局)	8



会長挨拶

会長 山本 久美

■中小企業診断士第1次試験を終えて
四国で初めての試験が実施されて、あらためて国家資格の重みを実感しました。トラブル発生時、マニュアルに沿った対応をすることについても、私自身、食品製造のISOの支援に携わっていることもあり、ルール徹底の重要性を再認識し勉強させていただいた思いです。

地元の経営者からは愛媛県で試験が実施されたことは人材育成のモチベーションの1つになり、「大変ありがたかった」というお声も頂戴しました。準備から実施まで様々なことがありましたが、無事に試験が実施でき良かったと感じております。

■デジタル化・人材育成の推進

今期後半の取組みとしてはデジタル化推進のため kintone 導入の計画を進めることを考えています。東京都協会ではすでに広く活用が進んでおり、香川県協会でも活用している事例を見せていただき本格的な推進の必要性を感じました。

また、地元の様々な機関との連携も引き続き進めて参ります。愛媛大学との連携等でスタートアップ、ベンチャー支援など起業家人材を育てる取組みも重要



と考え、これらの事業活動の情報共有をしていくことで地元の若手人材育成の支援ができればと考えています。支援を通じて、中小企業診断士の資格に興味を持っていただければ、試験に挑戦する人を増やすことにも繋がると思っています。

■協会の運営について

このところコロナ感染者数が増加傾向で、公的な窓口ではマスクを求められる等、未だ治まったとはいえない状況のため、研修旅行などの交流機会の復活は様子を見ながらになりそうです。

しかし、企業内診断士の方の協会運営への積極的な参画を促していく必要性は感じており、そのため、Web会議システムを活用したリモート参加について、スキルアップ研修だけでなく理事会でも恒常的に実施できるよう体制を整えて参ります。

愛媛県は東予・中予・南予と地理的に距離があり移動が大変な部分があるため、松山近郊在住でないとは参加しにくいという状況は是正していきたいところです。11月に開催する「中小企業診断士の日」のイベントでは企業内診断士の方に向けたテーマを予定していますが、ここでもリモート参加ができるよう準備を進めています。

■人材育成への支援

中小企業庁が施策で人材活用ガイド

ラインを示しています。人手不足の解消が目的の1つにありますが、DXが進むと、人余りの状況も生じると予測しています。人の「量」の確保ではなく「質」の確保が求められてきており、リカレント教育を含めた人材育成が重要です。単なる知識を提供するのではなく、実務と連携する形での本当の意味での「知力」を持つ人材の育成が求められています。

愛媛県協会としてもこの方針に沿った中小企業、小規模事業者の支援ができるよう個別企業への教育訓練を行うだけでなく、国の方針を踏まえた企画を県や市に提案できる体制作りを目指して参ります。

■今後の方針について

会員数は現在50名程ですが、今後の運営を考えると、あと20~30名程入会していただける環境を整えていく必要があると考えています。そのためには40代~50代前半の世代の方が前面に立って様々な活動を推進してもらい、経験の豊富な世代が後方から支援していく形になっていくことが理想です。

次の世代に引き継いだ後は様々な立場の人が参画して、やりたい活動ができる体制を取ってもらえるよう、残りの任期はそのための地ならしに注力して参りますので、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。



四国初実施の中小企業診断士第1次試験対応を終えて

副会長 多田 稔

去る8月5日・6日の2日間、今年度の中小企業診断士第1次試験が全国10地区で実施されました。報道等で皆さんもご存じの通り、沖縄の那覇会場は台風6号の影響で中止（その後再試験が決定）となりましたが、その他の9地区は予定通り試験が行われました。今年度から試験会場に加わった四国地区（初年度は松

山開催）においても、2日間の試験業務を無事終えることができました。

第1次試験を四国（松山）で実施することが大筋で内定した2022年4月から、



私は愛媛県協会の試験委員長として準備作業に携わってきました。広島会場への視察、共同対応する香川県協会との調整、各種会議の準備、実際の試験を想定したデモンストレーション研修の企画と実施など、振り返ればこの1年半、業務の中心に常に試験事業があったように思います。

試験当日は、愛媛県協会・山本久美会長をトップの会場責任者とする試験委員会組織が機能し、大きなトラブルもなく業務を遂行することができました。とりわけ、山本聡子事務局長の献身的かつ綿密な準備と、小玉和史試験副委員長以下、各担当責任者の努力、そして愛媛県協会・香川県協会双方の試験委員の機転と頑張りが、スムーズな運営につながったと感じています。この場を借りて各位の御協力に感謝するとともに、心より御

礼申し上げます。

来年度(令和6年度)の試験会場は高松に移り、以降隔年で松山と高松が四国地区の試験会場になる予定です。中小企業診断士を志した時、「なぜ四国に試験会場がないのだろう?」と感じた人は多かったと思います。いま、協会にとっても念願であった「四国で診断士の試験が受けられる」という体制は整いました。会員の皆さんにおかれては、ぜひ試験事業に関心を持っていただき、試験監督・運営業務担当者として試験事業にご参加いただければと思います。

受験者にとって、試験業務に携わる中小企業診断士は自分より先に難関を突破した「憧れの存在」です。そんな羨望のまなざしを受けながら業務対応するのは、意外と気分がいいものですよ。



試験対応アドバイザーとしての所感

大阪府協会 田原 勇也

私は大阪府中小企業診断協会 事務局にて試験運営に携わっていたという経歴から、本部よりご依頼を受け、「令和5年度 中小企業診断士 第1次試験」において、四国地区のアドバイザーとして当試験に関与させていただきました。

釈迦に説法となってしまいますが、中小企業診断士という資格は「人生を変える資格」と認識されており、受験者の中には文字通り人生をかけて試験に挑む方がいらっしゃいます。本気で試験に挑む方々が、公平に安心して受験し、持てる力を余すことなく出し切れる環境を整えることが、運営側の責務となります。

試験は2日間ですが、絶対にミスが許されないという重責の中、愛媛県協会ならびに香川県協会の皆様は、1年前から入念に準備を進めておられました。

その結果、この度の四国地区での試験は、初開催とは思えないほどの完成度に至り、大成功を収められました。これは、試験に携わった皆様の献身的な取組みが実を結んだ証であると断言できます。

アドバイスをを行う立場でありながら、中小企業診断士が試験運営に取り組む姿勢や意義について、改めて学ばせていただく機会となり、皆様と事業に取り組めたことに感謝している次第です。次年度以降も四国地区での試験実施が成功を収め、診断士の地位および認知度の向上に寄与し、四国地区の更なる経済発展に繋がることを祈念しております。





新任役員の所信表明

理事 白石 秀一

6月16日に開催された第12回定時総会におきまして、理事に就任しました白石秀一です。経験の浅い私に職責が果たせるかどうか不安ですが、愛媛県中小企業診断士協会の発展のために、企業内診断士として出来ることを精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

私は、地方公務員として30年以上にわたり勤務をしており、今年4月からは、地域経済の活性化や観光振興などの分野に携わっています。毎日、若手職員とともにどう雇用を生み出すか、観光客を誘致するかなどについて、診断士としての知識も活かして取り組んでいます。

さて、今年5月から新型コロナが5類に引き下げられ、人の動きも活発になり経済に明るい兆しが見えてきた一方で、物価高騰や人手不足など中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、引き続き厳

しい状況にあります。このような時期に、「松山しごと創造センター」の相談員として聞いた現場の声などを、行政の施策に反映できる可能性のある部署に、私が配属になったのも何かの縁だと思っています。中小企業の経営課題解決に向けより良い施策を立案していきたいと考えていますので、現場の生の声を、是非、お聞かせいただければと思います。

今後も様々な協会事業に積極的に取り組み経験を積み重ねていくとともに、理事の一人として協会の令和5年度事業計画の達成に向け、微力ながら尽くしていきたいと思っておりますので、会員の皆様にも協会運営にご協力のほど、何卒よろしくをお願いいたします。



理事 高野 祐介

令和5年6月より、理事に就任しました高野祐介と申します。愛媛県中小企業診断士協会の発展のため微力ながら貢献できればと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は日本食研ホールディングス㈱に勤める企業内診断士です。中小企業診断士資格の登録は平成26年であり、資格取得から10年目となりました。資格取得後は勤務先で診断士の知識を活かしていましたが、もっと直接的に資格を活かしたいと考え、現在は各支援機関の事業にも参加させていただいています。公的な支援業務は平日昼間の対応が必須であり、日程調整が難しかったり、担当件数を思うように増やせなかったりといった事情はありますが、制約の中で最

大のパフォーマンスを発揮できるよう心掛けています。

企業内診断士が経験を積み、実力を高めるには、独自の試行錯誤も必要ですが、先輩診断士と一緒に業務に当た

る中で学びを得る事が非常に重要です。今年度から企業の事業性及び企業価値の分析(事業デューデリジェンス)を独立診断士と企業内診断士がペアで実施する取組みがスタートしました。こうした事業に積極的に参画して、諸先輩方からのご指導を頂戴しながら自己研鑽に励みたいと思っております。



また、私は広報委員会にも所属しており、協会の活動を広く情報発信すると共に、他の企業内診断士の皆さんにとって

有益な情報の共有、環境作りのお手伝いをしたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

監事 加地 孝則

6月16日付けで監事に就任しました四国中央市出身の企業内診断士です。松山市朝生田町に住んでいます。当協会に入会して6年目です。これまで当協会のスキルアップ研修やさまざまな活動に参加しながら、みなさまから学びや刺激を得てきました。これからも当協会での活動や運営に積極的に参加していきます。私のどの経験やスキルが更に地域の中小企業のお役に立つことができるのか、今は明確にはわかりませんが、いつでも私にはそれができるのは自然なことであり、寄り添う支援ができると気づいています。変化する社会環境の中で、対話を通じて、地域の中小企業へ少しでもお役立ちができるように相互支援の輪を広げていきます。中小企業診断士の集団である当協会のすばらしい未来へもつながっていくことを感じながら。

さあ、何を今日、楽しみますか？そしてその結果をお楽しみに。今後ともよろしく願いいたします。



■経歴

昭和43年4月生まれ、昭和63年に県立三島高校普通科卒、平成3年に国学院大学経済学部卒後、大成建設(株)入社(営業管理、経理、工事現場の事務担当、開発など経て、今は松山営業所長として建築営業を担当しています。

■好きな感覚

いつも前向きでパワフル、やさしさと思いやりがある、ユーモアがあって面白い



令和5年度事業系食品ロス削減啓発事業

濱田 悠介

愛媛県が推進する食品ロス削減事業について、今年度は昨年度の取組みを広く県内の食品に関わる事業者知っていただくための啓発事業を実施することになりました。多くの事業者に参加いただき事例から得られる知見を活用していただきたいと思いますので、周知にご協力いただければ幸いです。

今回、私は業務計画書の作成、広報のためのチラシ制作、アンケートのとりまとめや報告書作成といった役割を担っています。

また、多田副会長と共に企画提案書の

作成、愛媛県へのプレゼンなど企画提案段階から関わるチャンスをいただきました。プレゼンの際は持ち時間に比べて準備した資料の説明が駆け足になってしま



い、残り時間を多田副会長にフォローしてもらったなど反省点もあるのですが、貴重な経験になったと感じています。

自治体や連携機関へ企画提案できる人材の育成が今後の協会運営のキート

なると、会長からも方針として示されている通り、私のような企業内診断士でも企画提案に関わるチャンスは増えてくると思いますし、経験を経て「増やしていく側」になっていければとも思います。

申込案内を記載したチラシは愛媛県のサイトからダウンロードできます。



会場	日程
東予会場 新居浜商工会館3階	11月7日(火)
中予会場 テクノプラザ愛媛2階一般会議室	12月7日(木)
南予会場 愛媛県漁協宇和島事業部漁業研修センター2階	10月3日(火)



広報活動報告：今治北高等学校

高野 祐介

令和5年6月12日(月)、愛媛県立今治北高等学校の商業科3年生(2クラス76名)に対して、中小企業診断士資格の紹介を行いました。

同校では、生徒が自らのキャリアプランを考えるために、外部講師として企業担当者や専門家を招き、職業の内容や魅力を伝える「キャリアデザイン」の授業が行われています。

今回は、一部の生徒が中小企業診断士に興味を持っていたことから、愛媛県中小企業診断士協会に講師派遣の依頼がありました。

当日は、中小企業診断士の仕事内容、試験内容の他、愛媛大学での特別講義実施内容などについて説明を行いました。会場となった同校の図書館では、7限目(15:40~16:30)という遅い時間帯にも関わらず、多くの生徒から「仕事のやりがい」や「試験勉強の苦勞」などについて積極的に質問が寄せられました。



進路指導の担当教諭からは、今回受講した生徒の多くは大学に進学し、経営学部や商学部などビジネス系の専門分野へ進むことから、中小企業診断士資格の紹介は生徒達にとって大きなプラスになったと感謝の言葉を頂戴しました。

今後、愛媛県協会では他の県内高等学校への講師派遣も計画しており、中小企業診断士の魅力を広く発信していく予定です。



入会ご挨拶

井上 雄介

皆さま、はじめまして 2023 年 2 月に診断士登録、同年 4 月に愛媛県中小企業診断士協会に入会させていただきました、井上雄介と申します。1983 年生まれで今年 40 歳になります。

■経歴・現在の仕事

愛媛県松山市出身です。大学は関西へ出ておりましたが、その後、帰省して地元ケーブルテレビ局に就職しました。入社してから現在まで主に経理・総務業務に従事しています。経理では決算書作成、予算や中期経営数値の管理、総務では株主総会や取締役会の事務局運営を行ってまいりました。現在は 2024 年 1 月に本格実施される電子帳簿保存法の対応へ向けて、社内ワークフローの整備を進めております。

■診断士を取得した経緯

経理畑が長く、数字や結果に至るまでのプロセスを深く理解するには経営に関する全般的な知識が必要だと感じていました。そんな中、診断士試験を知り、幅広い知識を得るには最適と考え勉強

を開始しました。1 次試験の科目合格に始まり、途中コロナ禍に突入したことで勉強を一時中断するなど、紆余曲折ありましたが、勉強開始から約 3 年を経て 2021 年度に合格しました。

■今後について

企業内診断士としては、経営環境が目まぐるしく変化する中で、自社の課題を認識し、社内の改善活動の起点となる動きができればと考えています。中でも人事領域は長期的に見て大変重要であり、働きやすい環境整備や人材育成の仕組み構築などを進めてまいります。協会活動については、入会から約半年が経過し、その間、スキルアップ研修の参加や試験事業の監督員を経験させていただきました。今後も様々な機会に積極的に参加することを考えています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



入会ご挨拶

扇山 光一

はじめまして 2023 年 6 月に入会させていただきました、扇山光一と申します。

■私の経歴

1964 年生まれ、10 月で 59 歳になります。松山出身で日本大学を卒業後、店舗内装会社の営業職、総合広告代理店の営業職、松山の地域出版社のマーケティング事業部ディレクター職を経て 2000 年にプランナーとして独立しました。独立後は首都圏の仕事が中心で、ここ十数年は単身赴任的に東京で活動していたの

ですが昨年 12 月に区切りをつけ松山に戻ってきました。

■診断士を取得した経緯

IT 系ベンチャー企業と仕事をする中で、経営全般を体系的に身につけたいと感じたのが、診断士の勉強を始めたきっかけです。急成長を遂げる企業の経営戦略に興味を持つと共に、



その過程で起こる様々な問題の解決に取り組みたいと思うようになりました。初めて勉強したのは随分前。やっつてはやめての繰り返しでしたが、コロナで外出が減ったこともあり勉強を再開し 2022 年に合格することができました。

■現在の仕事

独立当初はプロモーションやマーケティングなどの戦略・戦術の立案、広告や販促ツールなどの企画・制作、リサーチやレポートなどが中心でした。徐々に新規事業や業務改善などのコンサルティング、宣伝販促担当としてのプロジェクト参画などにも取り組むようになり、

現在に至っています。これまで経験してきたのは、IT、有料放送、出版社、メーカー、音楽、観光、行政など。的確な分析と考え抜く力には自信があります。

■今後について

“これからを見据えた成長の実践的な仕組みをつくる”というのが、ずっと追求しているテーマです。診断士としてはまだまだ未熟だと思いますが、多少なりともできることがあるような気がしています。実務補習で教わった“寄り添うこと”を大切にして、何でも挑戦してみたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



お知らせ

■令和 5 年度（後半）の行事予定

日程	行事内容
10 月 27 日(金)	四国ブロック会議 (徳島県)
11 月 4 日 (土)	中小企業診断士の 日
12 月 1 日 (金)	三者連携セミナー
12 月 12 日(火)	会員研究会

■スキルアップ研修予定

日程	行事内容
9 月 12 日 (火)	四国地区初の中小 企業診断士第 1 次試 験対応を終えて
10 月 17 日(火)	(仮) リサーチとデ ータ分析～適切な手 法と気づきを得る 分析のポイント～
11 月 14 日(火)	診断報告書レポー ト作成方法

※12 月の研修は会員研究会として実施

■デジタル化推進に向けた kintone 導入計画について

現在、協会では会員への情報共有の円滑化、協会事務の効率化を図るため kintone の導入を計画しています。組織体制として、広報委員会の分科会としてデジタル化委員会を設け、青野晃平さんをデジタル化委員として迎えております。これまでに導入スケジュールの立案、及び運用ルールの素案作成を行いました。

<今後の予定>

- ・ 9 月 : トライアル環境への申込。運用に必要な各種設定
- ・ 10 月 : 利用イメージを伝えるためのサンプルアプリを作成
- ・ 11 月 : 利用イメージの周知。活用アイデアや運用についての意見募集

その後、アプリの実装を進め、翌年 1 ~ 2 月を目処に運用に関する説明会を実施、3 月からの運用開始を目指す予定です。利用イメージの周知や意見募集などの節目に進捗をお知らせしますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。